

第 3 回悠創の丘利用調整協議会

目 的	<p>利用者のニーズに合った公園の運営管理に反映させようと悠創の丘の代表的な利用者、すなわち地域の方々、教育施設、福祉施設、及び地元企業などの方々からご意見、ご提案などをいただく会。</p> <p>平成 21 年 11 月に 1 回目の会議を開催、今回は第 3 回目。</p>
期 日	平成 23 年 12 月 2 日
会議の場所	悠創の丘 悠創館
会議出席者	26 名（地域の方々 9 名、教育関係の方 2 名、福祉施設関係の方 5 名、地元企業 1 名、行政 1 名ほか）
会議の次第	<p>3 次 第</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 主催者挨拶 伊藤社長</p> <p>(3) 自己紹介 各団体出席者</p> <p>(4) 協議 （座長：グリーンセンター佐藤理事長）</p> <p style="padding-left: 20px;">① 第 2 回利用調整会議の提案とその後の対応 枝松課長</p> <p style="padding-left: 20px;">② 平成 23 年度悠創の丘事業計画の概要 同上</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 皆様方よりの提案 各団体出席者様</p> <p style="padding-left: 20px;">④ その他</p> <p>(5) 閉会 グリーンセンター志鎌副理事長</p>
会議の概要	<p>(1) 主な提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が「たけの子まつり」に参加できるように、駐車スペースの指定等配慮をお願いしたい ・暑いときに日蔭になる緑陰が少ないので、考えてほしい。 ・悠創の丘の一部も震災後の調査で、土石流の危険区域レッドゾーンがあると町内会で説明を受けたが、公園管理者としての危機管理についての考え方 ・地元の子供たちで園内に野草等を活かした植物園をつくっていききたい。クリーン作戦等の清掃活動も行っていきたい。自主事業の情報も下さい。 ・ペットボトルを使ったハチ取りトラップを下げると、ハチの生息密度を下げる効果がある。 ・救急対応の体制と応急手当等への対応について ・滝山交流センターでホームページを立ち上げようとして準備している。これと悠創の丘のホームページとリンクさせてもらいたい。 ・地元で植栽したオオヤマザクラが大きく成長して花が見られるようになってきたので、春のサクラ、秋のモミジを活かして名勝にしてほしい。 ・良い公園の条件は、トイレのきれいなことだ、デーサービス利用者を連れてきてトイレもきれいで、眺めがよく喜ばれた。今後も公園管理のモデルとして努めてほしい。 <p>(2) 会議の状況 次ページ記録写真のとおり</p>



開会



社長の挨拶



座長（グリーンセンター佐藤理事長）挨拶



トップを切って滝山っ子クラブ会長のご提言



芸工大美術館大学センター事務長のご提言



あおぞら幼稚園園長のご提言



たつのこ保育園園長のご提言



青田第一町内会長のご提言



東青田一区町内会長のご提言



岩波町内会長のご提言



上桜田町内会長のご提言



滝山地区連合会長のご提言



のぞみの家の施設長のご提言



㈱富田造園デザイン社長のご提言



村山総合支庁都市計画課大高主査のご回答



グリーンセンター志鎌副理事長の閉会の挨拶